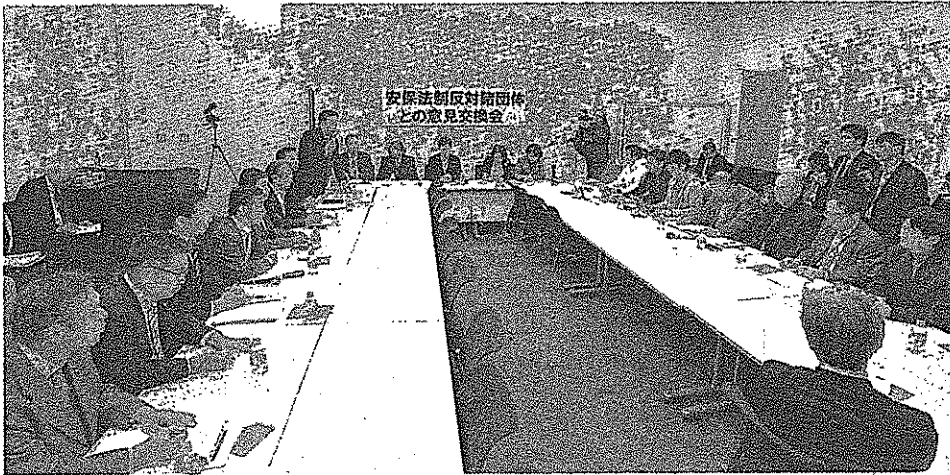


安保法制廃止の「市民連合」結成へ

参院選での野党共闘を提案

戦争法（安保法制）廃止と立憲主義・民主主義を取り戻すための今後の取り組みについて、戦争法に反対してきた5団体と日本共産党や民主、維新、社民、生活の野党5党は9日、3回目の意見交換会を国会内で行いました。市民団体から、「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」（仮称）を結成し、戦争法廃止に向けた参院選での野党共闘を求める提案が出されました。政党内から歓迎と連帯が示されました。

↓山下氏の発言要旨の面



安保法制に反対する諸団体と5野党の第3回意見交換会＝9日、衆院第2議員会館

市民団体と5野党との意見交換会

立憲デモクラシーの会呼び 閣議法に反対するママの会、かけ入の中野晃一・上智大学教授は、「市民連合」が応援する候補者や政党に求める事項として、安保法制の廃止をはじめ、集団的自衛権の行使を容認した「閣議決定」の撤回、立憲主義の回復、「個人尊厳」を守ることを提示。山下芳生書記局長は「何となく参加した、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会、安全保障関連法に反対する学者の会、SEALDs シールズ、安保 ならぬ責任を改めて感じて

日本共産党の山下芳生書記局長は9日、国会内で記者会見し、同日開かれた安保法制（戦争法）反対の諸団体と野党5党の代表との意見交換会で、民主党の枝野幸男幹事長が「安保法制を白紙に戻す」と発言したことについて、「前向きに受け止めた」と述べました。

山下氏は「野党間の選挙の協力を筋の通ったものにする点で、そこ（戦争法の廃止）が一番大事だと申し上げてきました。それに対して（枝野幹事長から）発言があったというのは大変前向きなものを受け止めている」と述べました。

また、そのうえで、「市民と野党との間で、戦争法廃止のために選挙協力を実現して、戦闘したい」と強調しました。

争法を強行した自公を少数派に追い込む結果がどう齎るかに強調しました。

山下氏「前向きに受け止めた」

民主・枝野「前向きに受け止めた」

山下芳生書記局長は「何となく参加した、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会、安全保障関連法に反対する学者の会、SEALDs シールズ、安保 ならぬ責任を改めて感じて

山下芳生書記局長は「何となく参加した、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会、安全保障関連法に反対する学者の会、SEALDs シールズ、安保 ならぬ責任を改めて感じて

山下芳生書記局長は「何となく参加した、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会、安全保障関連法に反対する学者の会、SEALDs シールズ、安保 ならぬ責任を改めて感じて

12/10 赤旗